

評価シート（年度評価）

稲永公園野鳥観察館の管理運営状況

1 基本情報

<所管局：緑政土木局>

指定管理者名	東海・稲永ネットワーク		
主な業務内容	野鳥の観察、野鳥保護に関する相談及び指導等		
評価対象期間	令和2年4月～令和3年3月	指定管理期間	平成30年4月～令和5年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
管理体制	1 管理体制	適切な職員配置	◎	専門的な知識のある職員を複数名常駐させるなど、仕様に定められた以上の管理体制を整えていた。新型コロナウイルス感染症対策へも迅速に対応して頂いたとともに、専門的な知識を要する死亡野鳥の確認など鳥インフルエンザの対応にも協力頂いた。
		緊急時の体制		
		人材育成		
維持・管理運営等	1 維持管理	館内清掃	◎	仕様・計画に定められたものに加え、利用状況に応じ確認・点検・清掃・小修繕等を実施していた。今年度は、誘導灯の交換及びエアコン排水ダクトの新設工事を行った。また、新型コロナウイルス感染症対策として消毒・換気等を定期的に行うとともに、日常的に施設周辺の清掃、除草や定期的に樹木の剪定を行い、利用者が来館しやすい環境づくりに心がけていた。
		建物・設備の管理		
		保守・点検・小修繕		
		管理水準の維持		
		関係書類の調製・保管		
		市民との協働による活動		
	2 運営管理	利用者アンケートの実施	○	利用者ニーズをアンケートや意見箱から把握・分析し、要望が多い野鳥飛来状況の情報提供（館内掲示・ブログ掲載）に尽力していた。また、渡り鳥が多い時期は、干潮時間に合わせて開館時間を早める対応を行っていた。
		利用者ニーズの把握と反映		
		接客・接客向上の取組		
		苦情・要望に対する適切な処理		
		個人情報の適切な管理		
	3 魅力増進・利用促進	創意工夫した施設管理	◎	利用者ニーズに合わせた管内掲示・展示を行うと共に、利用者への広報・情報提供として、写真を多用した野鳥飛来状況や行事予定を掲載したブログ「観察館日記」を年間227回更新した。
		利用者への広報・情報提供の実施		
		野鳥保護行事の開催		
	4 施設特有の管理	野鳥の観察、野鳥保護に関する相談及び指導	◎	専門知識を持つ職員を配置し、豊富な観察経験と知識に基づき来館者や電話での問い合わせに対して、指導・相談をわかりやすい言葉で丁寧に行っていた。
		野鳥保護に関する資料収集と提供		
	5 自主事業	事業計画に基づく自主事業の実施	○	周辺施設と連携して事業を行い、藤前干潟全体の魅力を発信することで、野鳥観察館の利用促進に繋げていた。
		集客対策への効果		
	6 自主事業	現金等の取扱い	○	現金、関係書類等について適切に取扱われていた。
		関係書類の調整・保管		
自己評価	1 自己評価	入館者数の目標達成	○	新型コロナウイルス感染拡大防止で閉館となった2か月間と団体客の利用減の影響で、年間目標を達成することはできなかったが、秋のイベントは盛況であり、また一般来客数は徐々に回復し例年程度となった。
		法令・協定の遵守		
		事業計画との比較分析		

【総合評価】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため閉館等があったが、バードウォッチングが見直され、コロナ禍を機に野鳥観察に興味を抱く人が増え、イベントの回当たりの来館者数が増加した。それに対し大人数の来館者があるときに職員を増員するなど、来館者に対して丁寧に対応していること、豊富な観察経験と専門的な知識を持つ職員を複数名常駐させる管理体制を整えていること、また、来館者や電話での問い合わせに対して、わかりやすい言葉で丁寧に対応を図ったことは評価できる。アンケートにおいて否定的な意見がなかったことも、日ごろの運営の成果かと思われる。

さらに、野鳥飛来状況や行事予定を掲載したブログ「観察館日記」を年間227回更新したことなども評価できる。今後は落ち込んだ団体客、小学校へのアプローチを含め、年齢層によって使うものが異なる点も考慮し、SNSの有効な活用等、ブログ以外でのインターネットの情報発信についても検討していただきたい。

施設の現状

稲永公園野鳥観察館

施設 の 現 状	施設概要							
	市民を対象に、野鳥観察及び野鳥保護に関する知識並びに自然保護に関する意識の高揚を図ることを目的に設置された施設です。 藤前干潟の水鳥を観察するために、望遠鏡30台を設置し、野鳥の観察、野鳥に親しむ各種イベント、野鳥の保護に関する相談・指導、資料の展示、書籍の販売を行っています。							
	市の収支状況(千円)（2年度決算(見込)額）							
	支出			収入				
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金
	8,818	0	8,818	0	216	8,602	8,818	-
	特記事項							
管理 運 営 指 標 の 状 況	取組状況							
	指標		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	利用者数		人	27,602	29,041	28,818	20,915	
	来園者満足度アンケートで良かったと回答した割合(来園者アンケートによる)		%	87	92	82	76	
	利用者1人当たりの運営費		円	255	298	306	422	
	特記事項							
	干潟の野鳥観察に適した渡り鳥の飛来時期の干潮時間帯には、団体利用予約が重なって受け付けられないこともあり、来館利用者数には限度があるが、来館せず機材を持参して干潟の野鳥を観察・撮影する人に向けても、ブログやホームページ、問合せ対応など広く情報提供を行っている。隣接施設と連携した取り組みやイベント開催及びイベント出店、また継続的な情報発信で、野鳥や野鳥観察館についてのPRに励んでいる。							

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費等を記載